

洞窟の哲学から広場の哲学へ

フォーマット化で広げる公民科倫理のアクティブラーニング型授業

片岡 勝規

千葉県立長生高等学校

ktok-katsunori@nifty.com

はじめに——哲学カフェ型授業の理想と現実

哲学カフェとは、マルク・ソーテ¹がバスチユ広場のカフェで始めた哲学的対話のことである。哲学カフェの現場では特定の哲学的なテーマについて、不特定多数の人々が意見を交わし合う。日本には1990年代に紹介され、現在では全国的に哲学カフェが普及しつつある。すでに、高等学校公民科倫理でも哲学カフェ型、あるいは対話型の授業実践報告²が行われている。では、どうすれば哲学的テーマを主体的に考察し、対話する力を養うことができるのか。哲学カフェ型の授業を成功に導くために必要な要素は何か。

2015年、第3学年必修の倫理で哲学カフェ型の授業を成功させることを目的に、全5回のアクティブラーニング型授業を実施した。その時の実践の概要については、「2016公民科最新資料 特集号」（第一学習社）³に寄稿させていただいた。後述の「授業実践例1」は、これらの授業の実践報告である。

哲学カフェ型授業の成功のイメージといえば、意見の交換が白熱し、発言をした生徒もそれを聞いていただけの生徒も一体となり、授業後に振り返れば全員が満足しているようなものだろう。静まりかえった沈黙の時間だけが流れる授業にはしたくない。そのような観点から5回分の授業をデザインした。

結果としては、かなり理想の状態に近い哲学カフェ型授業になった感覚はあった。しかし、意見交換の白熱化は、思考力と表現力に優れた教室の中の一部の生徒たちの力によるものであり、全生徒の思考力と表現力を底上げしたという実感までは得ることができなかった。

広場の哲学と洞窟の哲学——思考の反射神経とともに、広く深い思索を育てる

何の準備もなく、いきなり哲学的テーマを提示してクラスで話し合ひましょう、とうながしても、沈黙の時間が流れるだけであろうことは想像に難くない。哲学カフェ型授業が成立するためには、あらかじめそれなりの準備が必要である。

対話型授業のために必要な力の一つに、知的な瞬発力や反射神経がある。対話とは問い

¹ マルク・ソーテ『ソクラテスのカフェ』（紀伊國屋書店,1996）

² 萩原拓也「僕の対話型授業は何だかうまくいっていない気がする」（全公社研 平成28年度全国研究大会（千葉大会）研究報告）

³ 『『アンパンマン』から哲学カフェへ～公民科『倫理』で思想を深めるアクティブラーニング型授業～』<http://www.daiichi-g.co.jp/komin/info/siryu/29t/160420/s/s2.html>

と答えが繰り返される中で、その内容が少しずつ文脈に沿いながら更新されていく。問いとその文脈を読み取りながら、自分の考えるふさわしい答えを探しながら対話が進む。だからこ他者との対話の中で、以前には意識していなかった新しい思考を発見することができる。対話のスピードと思考のスピードが重なっているときに、最大のパフォーマンスが実現する。

考えながら話し合うというトレーニングを意識的に行うため、グループで話し合う時間を“広場の哲学”⁴と名付けて実施した。古代ギリシアのアゴラで市民たちが対話を通して思索を深めるイメージである。2015年の実践の際には、本格的な哲学カフェ型授業に入る前に3回、広場の哲学に慣れるためのAL型トレーニング授業を実施した。

また、瞬発力や反射神経以上に重要と思われるのが、思考の深化と拡大である。ある事象の原因や関連を根源まで遡って考えたり、他の原因や要素を広げて考えたり、さまざまな現象をカテゴライズする思考。これらの思考は他者との対話を通してではなく、自分の中で自問自答しながらじっくりと時間をかけながら思索を深めることで実現する。

対話に先だって、課題となるテーマについてじっくりと考えながら書く時間を“洞窟の哲学”の時間と名付けた。「聞く」、「話す」という他者との関わりの前に、自問自答しながら書き、書きながらさらに考えを深める。洞窟や書斎に一人籠もって思索にふける哲学者のイメージである。どのような形式でも、対話に入る前に必ず洞窟の哲学の時間を設けて、テーマについての思索を広げるとともに深めることを行った。

“洞窟”にせよ“広場”にせよ、思考の作業のイメージを具体的にカテゴライズすることによって、生徒の学びの活動の方向性を分かりやすく示すことができる。哲学カフェ型の授業といえば、広場の哲学のイメージだろうが、まずはそれに先だって洞窟の中でしっかりと自分の思考を練り上げることを生徒に勧めた。

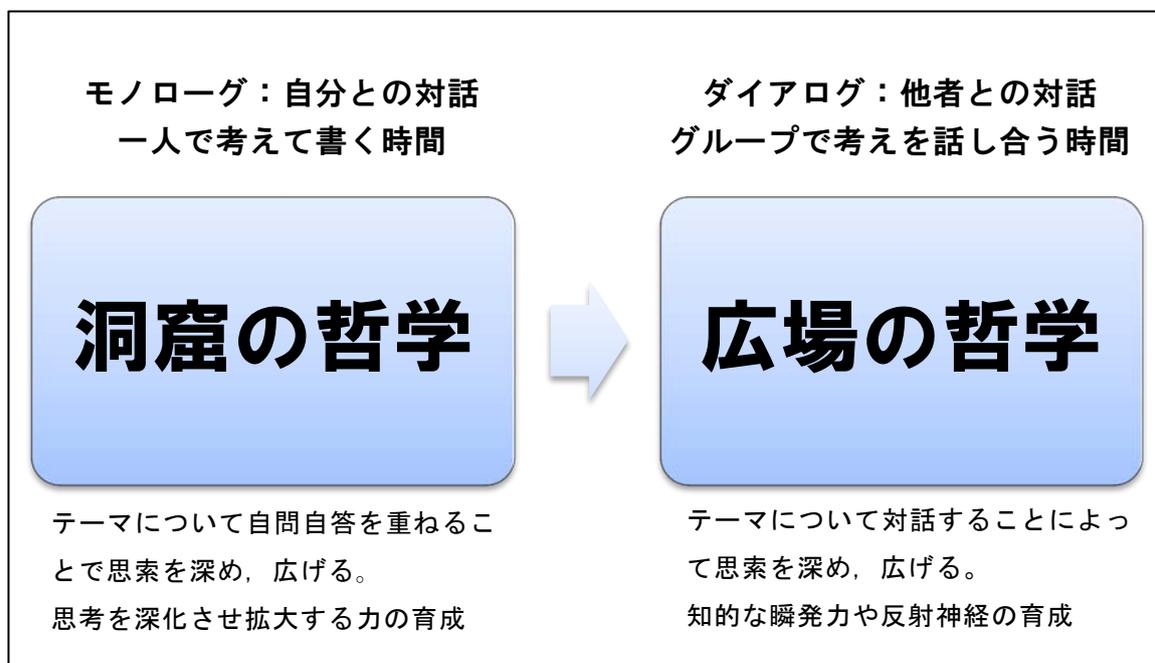


図 1 洞窟の哲学から広場の哲学へ

⁴ “洞窟の哲学” “広場の哲学” の用語は、ヘーゲル研究者の中埜肇が弁証法の説明の際に monologue と dialogue を対比するために使っていたものである。

フォーマット化の視点——45分以内に収める授業のデザイン

本校（千葉県立長生高等学校）では、1日の日課が45分の7時間授業で行われている。通常よりも短い学習時間の中でアクティブラーニング型授業を成功させるためには、授業の活動の時間配分をどう組み立てるかがポイントになる。

アクティブラーニング型授業や研修の効果的な時間と内容の構成について、「マイクロフォーマット」という考え方を早稲田大学の向後千春⁵が提案している。そのフォーマットは、だいたい30分を1ユニットとして、次の要素から構成される。

1. 15分間のレクチャー
2. 10分間のグループでの対話
3. 5分間の全体シェア

このようなデザインを、あらかじめ参加者に予告して行われる授業や研修は、通常よりも能動性が高まり、知識やアイデアが定着する効果が得られるという。考え方としては、シェアのために真剣に話し合い、対話をするために真剣にレクチャーを聴くというように、目的を明示することによって、参加者の意欲を高めるということのようだ。

哲学カフェ型の対話型授業にせよ、それとは違った形でのアクティブラーニング型授業にせよ、あらかじめ実施時間と内容、さらにはプリントのフォーマットをあらかじめ作っておき、後はテーマを変えることによって様々な内容の授業を行うことができる。要は、1度時間と作業内容とプリントをフォーマット化してしまえば、あとは同じパターンで沢山のバリエーションのアクティブラーニング型授業を実施することができるのである。また、これらの授業の目的が、哲学的な対話に参加できる能力を身に付けることであることをあらかじめ示すことで、生徒の学習活動への意欲を高めることも期待できる。

そこで2015年の実践では、哲学カフェ型授業の準備と練習のためのAL型トレーニング授業フォーマットを利用し、考えて発表する授業に慣れるための授業を3回、哲学カフェ型授業フォーマットでの授業を2回実施した。それぞれのフォーマットは以下の通りである。

◆AL型トレーニング授業フォーマット（45分）

1. テーマ（問い）についての説明	5分
2. テーマについて考え、書く時間（洞窟の哲学の時間）	10分
3. グループで考えを話し合う時間（広場の哲学の時間）	20分
4. グループの話し合いを発表する時間	5分
5. 振り返りの時間	5分

◆哲学カフェ型授業フォーマット（45分）

1. テーマ（問い）についての説明	5分
2. テーマについて考え、書く時間（洞窟の哲学の時間）	10分
3. クラス全体で考えを話し合う時間（広場の哲学の時間）	25分
4. 振り返りの時間	5分

⁵ 向後千春「マイクロフォーマットによる授業と研修のデザイン」（日本教育工学会第30回全国大会講演論文集）

フォーマットの変更——哲学カフェ型授業と評価の見直し

2015年の5回の授業の最終的な目標は、約40人のクラスで実施する哲学カフェ型の授業を成功させることだった。結果として、いくつかのクラスでは、意見の交換が白熱し、発言をした生徒もそれを聞いていただけの生徒も一体となり、授業後に振り返ればほぼ全員が満足している状態になった。

しかし、約40人の生徒の中で実際に発言したのは平均12,3人程度で、大体3分の1、多いクラスでも半数程度の発言者数だった。クラス全体で、しかも25分という限られた時間の中で話し合っている状態ではそれが限界なのだろう。振り返りのワークシートの中でも、クラスメイトの意見を聞くことがよかったとしながらも、自分が発言をしなかったことを残念に思っている生徒が一定数いた。

また、授業の評価にしてもワークシートを5段階で評価しただけだったので、授業中の生徒の活動を成績評価に加えることができなかった。この点も改善の必要があった。

以上の反省から2017年の授業実践では、以下の通り哲学カフェ型授業のフォーマットと授業形態（クラス全体ではなくグループの中で自由な意見交換を行う）を変更するとともに、ワークシートの中に、洞窟の哲学と広場の哲学の自己評価ルーブリックを加えることとした。

◆新哲学カフェ型授業フォーマット（45分）

1. テーマ（問い）についての説明	5分
2. テーマについて考え、書く時間（洞窟の哲学の時間）	10分
3. グループで考えを話し合う時間（広場の哲学の時間）	20分
4. グループの話し合いを発表する時間	5分
5. 振り返りの時間	5分

自己評価ルーブリック

評価項目	S：優れている	A：十分満足できる	B：改善を要する	C：努力を要する
洞窟の哲学 Monologos 一人で自問自答し 思索を深める	しあわせの本質について、具体例を挙げながら抽象化して示し、それらを分類整理して考えることができた。	しあわせの具体例を示すとともに、その本質を抽象化して表現することができた。	しあわせの具体例をいくつか考えて書くことはできた。	しあわせについて考えて書くことができなかった。
広場の哲学 Dialogos 話し合うことによ って思索を深める	しあわせについての意見の共通点と相違点を見つけて思索を深め、グループの意見をうまく分類・整理することができた。	しあわせについての意見の共通点と相違点を見つけて思索を深め、グループの意見をまとめることに協力できた。	しあわせについての他の人の意見を聞くとともに、自分の意見を言うことはできた。	しあわせについての自分の意見を言うことができなかった。

授業実践例 1——A L型トレーニング授業から哲学カフェ型授業へ

2015年の5回の授業実践の目的は、最終的に哲学カフェ型授業を成功させることだった。そのため、下のように2種類のフォーマットのアクティブラーニング（A L）型授業を準備して実施した。

◆A L型授業学習計画

・A L型トレーニング授業

1. アリストテレスの倫理学——人間の生きる目的と幸福について

アリストテレスの倫理学についての簡単な説明を受けて「アンパンマンのマーチ」を聴き、「しあわせ」について思索する。

2. 仏教の思想——人間の不幸と苦しみにについて

さだまさしの「防人の詩」を聴き、仏教思想に見られる苦についての簡単な説明を受けて、「苦しみ」について思索する。

3. 中国思想の人性論——人間の本性とはどのようなものか

吉田拓郎の「人間なんて」を聴き、中国思想に見られる性善説や性悪説などの人性論についての簡単な説明を受けて、人間の本性について思索する。

・哲学カフェ型授業

4. 哲学カフェ1 人間にとって知とは何か

ギリシア哲学、フランシス・ベーコン、ルソーなどの「知」についての思想の簡単な説明を受け、人間にとって知とは何かについて思索する。

5. 哲学カフェ2 人間にとって美とは何か

ギリシア哲学、プラトン、カントなどの「美」についての思想の簡単な説明を受け、人間にとって美とは何かについて思索する。

この中から1. アリストテレスの倫理学—人間の生きる目的と幸福についてと4. 哲学カフェ1 人間にとって知とは何かを紹介する。

指導事例1 アリストテレスの倫理学—人間の生きる目的と幸福について

【授業の目的】

哲学的思索と小グループでの対話の経験を積むことによって、後日行う哲学カフェ型授業の中で自ら発言し、対話を行う方法を学ぶこと。

【授業の目標】

1. テーマについて思索することによって自分の考えを深めること。
2. 自分の考えたことを書いてまとめること。
3. 自分の考えを小グループ内で発表すること。
4. 他の生徒の考えを聞いて更に自分の考えを深めること。

【授業の対象】

第3学年必修倫理の中で全生徒を対象に、アリストテレスの倫理思想に入る前の導入の授業として行った。

【必要な機材】

スマートフォン（音楽再生用）、スマートフォン用スピーカー、タイマー（スマートフォンのタイマー機能でも可）

【授業の流れ】

本時のテーマ、「しあわせ」について、アリストテレスの倫理学の一部を簡単に紹介する。

- ・アリストテレスはすべての存在の運動に目的があると考えたこと。
- ・人間にも生きる目的があると考えたこと。
- ・人間の生きる目的は善であること。
- ・さまざまな善の中でも最高の善がエウダイモニア（幸福）であり、アリストテレスは幸福が人間の生の目的であると考えたこと。

以上の論点を踏まえた上で、下のプリントの歌詞を見ながら、「アンパンマンのマーチ」を聴く。

子どもの頃に聴いた覚えのある「アンパンマンのマーチ」の歌詞の中に、人間の生きる目的が何かというテーマや、何が自分のしあわせなのかというテーマが含まれていることを確認し、この曲を聴いての簡単な感想をワークシートに書き入れる。

その後、10分間時間をとって、「人間にとって『しあわせ』とは何か」というテーマで思索を深め、以下に掲載したワークシートに、自分なりの答えをまとめる。

タイマーで10分経過が示されたところで6～7人の小グループを作り、あらかじめ発表者を決める。そのあと20分間でそれぞれのメンバーが自分の考えを順番に発表し、グループ内でさらに質問や意見交換をして、それを発表者はまとめる。

20分経過後に各グループの代表者がそれぞれのグループで話し合った内容を全体に発表し、授業者は簡単にコメントを加える。

一通りの発表が終わった後で、「しあわせ」についての理解が授業の前と後でどのように変化したかなどを振り返り、ワークシートに記入する。

なお、提出されたワークシートは、意見のユニークな部分に赤線を引き、簡単なコメントを加えた上でS、A、B、C、Dの5段階で評価し、次のアクティブラーニング型授業の際に返却する。

【生徒の様子・反応】

以下、実際に授業を行って観察することができた、生徒の様子や反応を列挙する。

- ・「アンパンマンのマーチ」の歌詞をあらためて読んだ生徒たちの中には、子ども向けの歌であるにもかかわらず、意外に深い歌詞の内容に驚く者もいた。
- ・「しあわせ」とは何かを考える際に、考えるヒントとして、具体的なしあわせの例を列挙してみたらそれらを抽象的に考えてみることを勧めた。その結果、自分にとってのしあわせについて考えた生徒が多かった。
- ・グループ内での発表はほとんど抵抗がなく行われていた。これは、本校では1学年のうちから英語の授業などを通してグループワークが日常的に行われていることが原因として考えられる。
- ・グループ討論のヒントとして、メンバーのさまざまな意見をどのように分類できるかを考えるようにアドバイスを行った。

・グループ代表の発表の中で、いくつかのグループでは、物質的なしあわせと精神的なしあわせの違いについて述べていた。

・また、自分一人にとってのしあわせと他者のしあわせ、みんなのしあわせについて考察したグループもいくつかあった。しあわせという感覚が、単に個人的なものなのではなく、それを他者と分かち合うことによって幸福感が増すという発表を行ったグループもあった。

・また、苦しみとの対比でしあわせについて考察するグループもあった。

・授業の振り返りでは、多くの生徒が他の生徒の意見を聞いて、しあわせについての考察や理解が広がったと書いていた。また、この授業の体験が楽しかったと書いた生徒も多かった。

この実践によって、自分の考えをまとめる洞窟の哲学の時間には、思索を通して生徒自身の思考を深める効果があること。また、グループで話し合ったり、話し合いの結果を聴く広場の哲学の時間には、対話を通して自身の思考の視野を広げる効果があることが分かった。

指導事例2 哲学カフェ 人間にとって知とは何か

3回のグループ学習で思索と対話の経験を積んだ後に、哲学カフェスタイルの授業を行った。カフェという位なので、授業中といえども飲み物とお菓子を準備して、飲食しながら、気楽に哲学的な対話に参加して欲しい旨の事前連絡をした。

【授業の目的】

哲学的テーマについての思索を深め、他の生徒の考えを聞き、自分の考えを発表するとともに、哲学的対話を楽しむ意欲や態度を育てる。

【授業のルール】

- ・意見を述べたい人は挙手をしてください。
- ・意見を述べた人に対して質問をしたい時も挙手をしてください。
- ・複数の挙手があった場合は進行役が指名しますので、それから意見を述べてください。
- ・意見を述べている人の話が続けているうちは挙手をしないでください。
- ・意見を述べる前に近くの人と相談してもかまいません。

【授業の流れ】

本時のテーマ、「知」について、下のプリントに沿って、これまでに学んだこと、フランシス・ベーコンの「知は力なり」、ルソーの見解を簡単に説明する。

10分間時間をとって、「人間にとって知とは何か」についての自分の考えをワークシートにまとめる。

机を6~7人程度の人数のグループで向かい合わせにして、お菓子を食べながらくつ



ろいだ雰囲気の中，教師が進行役となり，テーマについての自由な対話を行う。

進行役は生徒の意見を下のよう、黒板にまとめて対話の内容を分かりやすく示す。

進行役は結論を引き出すのではなく，意見を整理しながら，さらに深く思索することをうながすようにする。

進行役は授業の残り時間が約 5 分になった頃までに対話の全体を振り返るとともに，哲学カフェの振り返りをワークシートに書くようにうながす。

参考文献

小林昭文『アクティブラーニング入門』（産業能率大学出版部，2015）

小林昭文，鈴木達哉，鈴木映司『現場ですぐに使えるアクティブラーニング実践』（産業能率大学出版部，2015）

マルク・ソーテ『ソクラテスのカフェ』（紀伊國屋書店，1996）

マルク・ソーテ『ソクラテスのカフェⅡ』（紀伊國屋書店，1998）

クリストファー・フィリップス『ソクラテス・カフェへようこそ 誰にでもできる哲学への招待』（光文社，2003）

中島さおり『哲学する子どもたち バカロレアの国フランスの教育事情』（河出書房新社，2016）

向後千春「マイクロフォーマットによる授業と研修のデザイン」（日本教育工学会第 30 回全国大会講演論文集，2014）

萩原拓也「僕の対話型授業は何だかうまくいっていない気がする」（全公社研 平成 28 年度全国研究大会（千葉大会）研究報告，2016）

アリストテレスの倫理学——人間の生きる目的と幸福について

■ アンパンマンのマーチ 【作詞】 やなせたかし 【作曲】 三木たかし

そうだ うれしいんだ
生きる よろこび
たとえ 胸の傷がいたんでも

なんのために 生まれて
なにを して 生きるのか
こたえられない なんて
そんなのは いやだ!

今を生きる ことで
熱い ところ 燃える
だから 君は いくんだ
ほほえんで

そうだ うれしいんだ
生きる よろこび
たとえ 胸の傷がいたんでも
ああ アンパンマン
やさしい 君は
いけ! みんなの夢 まもるため

なにが君の しあわせ
なにを して よろこぶ
わからないまま おわる
そんなのは いやだ!

忘れないで 夢を
こぼさないで 涙
だから 君は とぶんだ
どこまでも

そうだ おそれないで
みんなのために
愛と 勇気だけが ともだちさ
ああ アンパンマン
やさしい 君は
いけ! みんなの夢 まもるため

時は はやく すぎる
光る 星は 消える
だから 君は いくんだ
ほほえんで

そうだ うれしいんだ
生きる よろこび
たとえ どんな敵が あいてでも
ああ アンパンマン
やさしい 君は
いけ! みんなの夢 まもるため

- ◆ 「アンパンマンのマーチ」の歌詞を読んで、あらためて考えることは何?

ワークシート 幸福とは何か 3年 組 番 氏名

◆人間にとって「しあわせ」とはどのようなことだと思いますか。あなたの考えを書いてください。

- グループを作ったら、じゃんけんで発表者を一人決めてください。
 - グループで各メンバーは「しあわせ」についての考えを発表してください。
 - すべてのメンバーが発表した後、その発表を聞いて気づいたことをグループの中で話し合ってみてください。
- ◆あなたのグループでは「しあわせ」とは何かについて、どのようなことに気づきましたか。話し合った内容をまとめてください。

◆【授業の振り返り】あなたの「しあわせ」についての理解は授業の前と後でどのような変化がありましたか。その他学んだこと、気付いたことなどを振り返ってください。

仏教の思想——人間の不幸と苦しみについて

◆防人の歌 【作詞】さだまさし 【作曲】さだまさし

おしえてください
この世に生きとし生けるものの
すべての生命に限りがあるのならば
海は死にますか、山は死にますか、
風はどうですか、空もそうですか、
おしえてください

私は時折苦しみについて考えます
誰もが等しく抱いた悲しみについて
生きる苦しみと老いてゆく悲しみと
病の苦しみと死にゆく悲しみと
現在の自分と

答えてください
この世のありとあらゆるものの
すべての生命に約束があるのなら
春は死にますか、秋は死にますか、
夏が去る様に冬が来る様に
みんな逝くのですか、

わずかな生命のきらめきを信じていいですか、
言葉で見えない望みといったものを
去る人があれば来る人もあって
欠けてゆく月もやがて満ちて来る
なりわいの中で ー後略ー

◆仏教思想に見られる「苦」

四法印：仏陀の悟った4つの法（ダルマ：正しい教え＝真理）

一切皆苦：人生のすべては苦であること

諸行無常：すべてのものは常に変化しとどまることがないこと

諸法無我：すべての存在（法）には固定的な実体がないこと

涅槃寂靜：煩惱を離れ、苦を滅した悟りの境地が涅槃であること

四諦：仏陀の悟った4つの諦（サティア：真理・真実）

苦諦：人生は苦しみであること

集諦：苦しみの原因は渴愛（欲望）・煩惱（悪しき心）であること

滅諦：煩惱が消え、苦しみが滅したところに涅槃の境地があること

道諦：涅槃に到達する道が八正道であること

四苦：生、老、病、死

八苦：四苦に加えて、愛別離苦、怨憎会苦、求不得苦、五蘊盛苦

ワークシート 苦しみとは何か 3年 組 番 氏名

◆人間にとって「苦しみ」とはどのようなことだと思いますか。あなたの考えを書いてください。

- グループを作ったら、すぐに発表者を一人決めてください。
- グループで各メンバーは「苦しみ」についての考えを発表してください。
- すべてのメンバーが発表した後、その発表を聞いて気づいたことをグループの中で話し合ってみてください。
- ◆ あなたのグループでは「苦しみ」とは何かについて、どのようなことに気づきましたか。話し合った内容をまとめてください。

◆【授業の振り返り】あなたの「苦しみ」についての理解は授業の前と後でどのような変化がありましたか。その他学んだこと、気付いたことなどを振り返ってください。

中国思想の人性論——人間の本性とはどのようなものか

◆人間なんて 【作詞】吉田拓郎 【作曲】吉田拓郎

人間なんてラララ ラララララ
人間なんてラララ ラララララ

何かほしいおいら
それがなんだかわからない
だけど何かたりないよ
いまの自分もおかしいよ

そらにうかぶ雲は
いつかどこかへとんでゆく
そこになにかがあるんだろうか
それは誰にもわからない

※人間なんてラララ ラララララ
人間なんてラララ ラララララ

(※くり返し)

◆中国思想の人性論に見られる「性」

人性論：人間の本性がどのようなものであるかについての論考

性：人間が生まれながらにもつ性質

『論語』：「性相近し、習い相遠し。(人間は生まれながらの本性はそれほど変わらないが、学習によってずいぶん違ったものになる)」

『中庸』：「天の命ずるをこれ性と謂い、性に率うをこれ道と謂い、道を修むるをこれ教えと謂う。(天の命令するものを性(生まれつき備わる性質)といい、その性にしたがって行うことを道といい、その道を修得することを教えというのである)」

告子(墨家)：「性には善なく不善なし」と主張したことで知られる。告子の性とは生まれつきの本能をいい、食欲や性欲を主要素と考えているが、「性は渦を巻いて流れる水のようなもので、東の方へ堤を切り開くと水は東へ流れ、西の方へ切り開くと西へ流れる。性に善悪の区別がないのは、水に東西の区別がないようなものである」と説いた。

孟子(儒家、性善説)：人間は生まれながらに「良知良能(善を知り、それをなす能力)」と四端(惻隠(あわれみいたましく思う)、羞悪(不善をはじにくむ)、辞讓(目にへりくだり譲る)、是非(正邪を判断する))を持つ。四端が四徳(仁義礼智)のもととなるがゆえにその本性は善である。それでは、性の善なる人間が、悪事をはたらくことがあるのはなぜか。それはおかれた環境による。

荀子(儒家、性悪説)：「人の性は悪なり、その善なる者は偽なり」偽とは、作為のことで、後天的努力をいう。人は無限の欲望をもち、放任しておけば他人の欲望と衝突して争いを起こし、社会は混乱におちいるであろう。放任しておく悪にむかう人の性、それは悪といわざるをえない。性の悪なる人間を善に導くためには、作為によって規制しなければならない。

ワークシート 人間の本性とは何か 3年 組 番 氏名

◆人間の本性はどのようなものだと思いますか。あなたの考えを書いてください。

- グループを作ったら、すぐに発表者を一人決めてください。
 - グループで各メンバーは「人間の本性」についての考えを発表してください。
 - すべてのメンバーが発表した後、その発表を聞いて気づいたことをグループの中で話し合ってもらってください。
- ◆あなたのグループでは「人間の本性」とは何かについて、どのようなことに気づきましたか。話し合った内容をまとめてください。

◆【授業の振り返り】あなたの「人間の本性」についての理解は授業の前と後でどのような変化がありましたか。その他学んだこと、気付いたことなどを振り返ってください。

哲学カフェ1 テーマ 人間にとって知とは何か

今回の授業は、哲学カフェスタイルの授業を行います。これまでのアクティブラーニング型授業のように、机を6つの島にくっつけて、お茶やジュースでも飲みながら意見の交換をしましょう。このページには「人間にとって知とは何か」を考える材料を少しだけ掲載しておきます。

◆「知」についてこれまでに学んだこと

ギリシア哲学において、哲学（ΦΙΛΟΣΟΦΙΑ）とは知恵を愛し求めること

プラトンは知恵、勇気、節制、正義を四元徳とした

人間の学名 ホモ・サピエンス（Homo sapiens）とは「知恵のあるヒト」の意味

◆フランシス・ベーコン（1561～1626 イギリス）の語る知

「知は力なり」（scientia est potentia）⇒知によって自然を征服する

人間は、自然に奉仕するものであり自然を解釈するものであるが、彼は自然の秩序について、実際に観察したか精神によって観察したことだけを為しかつ理解する。

…素手や放任された知性はたいしたことができない。道具や補助手段によって物事はなしとげられるのであって、手にとって同様知性にとってもそれらは必要である。

…人間の知と力は一つに合する。原因が知られなくては結果は生じないからである。というのは、自然は服従することによってでなくては征服されないのであって、考察において原因にあたるものは、制作においては規則である。

フランシス・ベーコン『ノヴム・オルガヌム』

◆ジャン・ジャック・ルソー（1712～78 フランス）の語る知

「知識は危険な武器として墮落の道具になりかねない」

なんらの結果もないところには、探求すべき原因はない。しかし、この場合、結果は確実であり、墮落は現実的である。そして、われわれの魂は、われわれの学問と芸術が完成に向かって前進するにしたがって腐敗した。人はそれがわれわれの時代に特有な不幸であると言うだろうか。いや、われわれの好奇心によって引き起こされた害悪は世界と共に古いのだ。…人びとは学問、芸術の光がわれわれの地平線上にのぼるにつれて、美德が逃れ去るのを見た。そして同じ現象があらゆる時代、あらゆる場所において観察されたのだ

ジャン・ジャック・ルソー『学問・芸術論』

■ 哲学カフェのルールは以下の通りです

意見を述べたい人は挙手をしてください。

意見を述べた人に対して質問をしたい時も挙手をしてください。

複数の挙手があった場合は進行役が指名しますのでそれから意見を述べてください。

意見を述べている人の話が續いているうちは挙手をしないでください。

意見を述べる前に近くの人と相談してもかまいません。

ワークシート 人間にとって知とは何か 3年 組 番 氏名

- ◆人間にとって「知」とは何だと思えますか。あなたの考えを書いてください。
- まずは10分間かけて、いつものように自分の考えをまとめてみよう。

- 自分の意見を発表したい人や、意見に対して質問をしたい人はどんどん挙手をして発言しよう。

- ◆このクラスで出てきた印象的な意見をここに書いておきましょう。

- 残り10分で今回の哲学カフェを振り返って考えてみよう。
- ◆【授業の振り返り】あなたの「人間の知」についての理解は授業の前と後でどのような変化がありましたか。その他学んだこと、気付いたことなどを振り返ってください。

哲学カフェ2 テーマ 人間にとって美とは何か

2回目の哲学カフェスタイルの授業です。まずは、10分間「洞窟の哲学」として、裏面に自分の考えた意見を書き込んでから、これまでのアクティブラーニング型授業のように、机を6つの島にくっつけて、お茶やジュースでも飲みながら意見の交換をしましょう。このページには「人間にとって美とは何か」を考える材料を少しだけ掲載しておきます。

◆「美」についてこれまでに学んだこと

善美（カロカガティア）とは、ギリシア語の二つの形容詞〈カロス kalos（美しい）〉と〈アガトス agathos（善い）〉をつないだ合成語

「調和」を重んじたピタゴラス学派において、善と美とは原理的に同一のものの2相ととらえられ、心身の調和的発達による善美の実現こそ、人間完成の理想とするギリシアの教育観へ受け継がれた。

◆プラトンの語る美

美そのもの（美のイデア）以外に何か美しいものがあるなら、それは他ならぬ美そのものを分有していることによって美しい。

プラトン『パイドン』

◆カント（1724～1804 ドイツ）の語る美

我々が咲いているバラの花を見て美しいと感じるとき、ふと一緒に傍らで見ている他人にその気持ちを伝えたいと欲し、また当然彼も自分と同じ気持ちでいるだろうと期待するときのことを思い起こせば、このこと（美しいと感じる感覚があらゆる人に共通していること）はごく自然に理解されるだろう。そしてまた、心性の状態を伝達できることが快を伴うことは、人間の社交性に向かう自然的性癖から容易に説明されうることでもある、とカントも説明している。

志水紀代子「美学的判断力と目的論的判断力——自由実現をめぐる」『カント読本』

■ 哲学カフェのルールは以下の通りです

意見を述べたい人は挙手をしてください。

意見を述べた人に対して質問をしたい時も挙手をしてください。

複数の挙手があった場合は進行役が指名しますのでそれから意見を述べてください。

意見を述べている人の話が続けているうちは挙手をしないでください。

意見を述べる前に近くの人と相談してもかまいません。

ワークシート 人間にとって美とは何か 3年 組 番 氏名

- ◆人間にとって「美」とは何だと思えますか。あなたの考えを書いてください。
- まずは10分間かけて、いつものように自分の考えをまとめてみよう。(洞窟の哲学)

- 自分の意見を発表したい人や、意見に対して質問をしたい人はどんどん挙手をして発言しよう。(広場の哲学)

- ◆このクラスで出てきた印象的な意見をここに書いておきましょう。

- 残り5分で今回の哲学カフェを振り返って考えてみよう。
- ◆【授業の振り返り】あなたの「人間にとっての美」についての理解は授業の前と後でどのような変化がありましたか。その他学んだこと、気付いたことなどを振り返ってください。

ワークシート 人間の本性とは何か 3年 組 番氏名

◆人間の本性はどのようなものだと思いますか。あなたの考えを書いてください。

欲望であるから、欲があるから、人は行動を起す故に、動物の中でも 進化した欲 社会的欲

欲望

快楽に
傾いた
生きたい。

認められたい
注目されたい
目立ちたい
好かれたい
○○が欲しい
三大欲
etc

満たすために起こした行動

人に良いと思われたいもの → 善いん
他人を傷ついたり、嫌われるもの → 悪いん

うらやんだり、それとうまく思っていないこと
→ 他者より自分が有様に立ちたい、
という欲。

- グループを作ったら、すぐに発表者を一人決めてください。
- グループで各メンバーは「人間の本性」についての考えを発表してください。
- すべてのメンバーが発表した後、その発表を聞いて気づいたことをグループの中で話し合ってみてください。
- ◆ あなたのグループでは「人間の本性」とは何かについて、どのようなことに気づきましたか。話し合った内容をまとめてください。

・知性があるから悪事を働かす。
知性がある故にそれと隠れたいと善を働かす。
→ 知性が本性である

・善が本性ならば、悪んはいない。
・本来ありものを良いものを良い物にする。
・美の追求をする。
・知性 考える、学ぶ ⇒ 人間のみする。
・無い物を思ふ。

本性

悪

知性

改善したい、
という欲

美しくなりたい、
美味しい物を
食いたい (料理)

知性という基本から、悪を行ったり、認識する。
改善したい、という欲から、必要なものを求めている。
美や、料理によって美味さを求めること。
(必要なものは自分でいいたいもの)

◆【授業の振り返り】あなたの「人間の本性」についての理解は授業の前と後でどのような変化がありましたか。その他学んだこと、気付いたことなどを振り返ってください。

欲が何から生まれるか、と考えるのはなかなか、下「よ」と思った。
知性があるから、○○したい、さまたち」と思ふ。
また、本性を何か、と考えるうちに、コレだ! と思ふものも、
全てを説明できなかつたりすると、それは正しいものではないと思ふ。
善が本性であれば、悪はどのようにして生まれるのか!
これが説明できないものは、本性だと言ひことはできない。
衆体の何か、と考えることは、自分はどういう者なのか、と、何がしたいのか、と考える
ことであると思ひました。

11/2

ワークシート 人間にとって知とは何か3年 組 番氏名

◆人間にとって「知」とは何だと思いますか。あなたの考えを書いてください。

■まずは10分間かけて、いつものように自分の考えをまとめてみよう。

知識がより増えれば「増えるほど、より良い」人間になれる。
 → 善悪の判断がつく。
 → 知があるからこそ
 幸せや悲しみも理解できる。

conscience (私の一番好きな英単語)
 集まる 知
 知識が集まる ⇒ (良心)

■ 自分の意見を発表したい人や、意見に対して質問をしたい人はどんどん挙手をして発言しよう。

◆このクラスで出てきた印象的な意見をここに書いておきましょう。

発展のために必要なもの。
 もつべきもの。
 昔はかに頼っていた。知 ↓ 戦争 犯罪 協定 etc

木の実は 知 腐らせないように 育てていくもの。
 知 // 程張る

知 // 自分守る 自分を傷たさう

使ひ方間違ると 破壊

この二の意い

人によって 必要な知は 違う

知を善悪とは区別できない。
 倫理感 違うかもしれない

文化全体

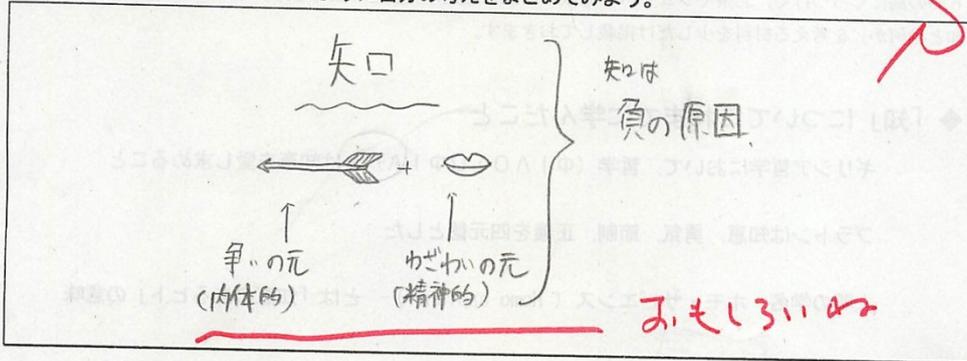
■ 残り10分で今回の哲学カフェを振り返って考えてみよう。

◆【授業の振り返り】あなたの「人間の知」についての理解は授業の前と後でどのような変化がありましたか。その他学んだこと、気付いたことなどを振り返ってください。

知を善悪とは区別できないという考えには少し考えさせられることがあった。
人によって必要な知は違うというのにも納得した。
 しかし全体的な意見をまとめると、使ひ方もち方には気を付けるべきだが、基本的には知はもっているゆえかもしれないと思った。

ワークシート 人間にとって知とは何か 3年 組 番 氏名

- ◆人間にとって「知」とは何だと思えますか。あなたの考えを書いてください。
- まずは10分間かけて、いつものように自分の考えをまとめてみよう。



- 自分の意見を発表したい人や、意見に対して質問をしたい人はどンドン挙手をして発言しよう。

- ◆このクラスで出てきた印象的な意見をここに書いておきましょう。

・良い面と悪い面両方ある。
 ・現実を細分化好き。
 ・自分の人間の色をぬる。
 ・苦しみの一つ。
 ・知を得ようとする人と得ようとした人の2通りの角がある。
 ・知は人間の示標

- 残り10分で今回の哲学カフェを振り返って考えてみよう。

- ◆【授業の振り返り】あなたの「人間の知」についての理解は授業の前と後でどのような変化がありましたか。その他学んだこと、気付いたことなどを振り返ってください。

「知」に対する解釈はたくさんある、ハイレベルなトピック
 だと思った。

ワークシート 人間にとって美とは何か3年 組 番氏名

◆人間にとって「美」とは何だと思えますか。あなたの考えを書いてください。

■まずは10分間かけて、いつものように自分の考えをまとめてみよう。(洞窟の哲学)

人が共通にもっているもので、人が永遠に求め続ける
 不変なもの。人の心におくにはなにかせうごかすもの。
 人間に一種の安心や快楽精神的な安定を得ることが出来る。
 人の心にならぬものは？！今まじ生きてきた長きであったり人生経
 過に伴って体感したり、経験したりしてきたものかも。民族にお
 いて美と考えるセンスがちがう。だから、日本であったら、自然を使
 っているか、西洋では自然征服しているものが美と感ずる。美とは、知性
 への何かをしめすか、つまり文化の差にふれることが一般的であった
 かも知れない。

■自分の意見を発表したい人や、意見に対して質問をしたい人はどんどん挙手をして発言しよう。(広場の哲学)

◆このクラスで出てきた印象的な意見をここに書いておきましょう。

視覚的、感性的、友情愛、感動するから美しい
 自然美は普遍的、ロマン時代において変わる、感嘆、調和、視覚、
 聴覚、嗅覚、美しいと思う心、センス、ホリゾン、機能、興味が持つ
 ために、衝動量、人の心がかげれ行動の美、空っぽ、美がな
 らぬ物事に興味がもたない。仲間、互感、安心、善が
 安らぎをくれる。不変の美はない。永遠の美。皆の美の基準
 社会の経済が美の基準。理想、価値尺度によって異なる。
 すべて美である。

■残り5分で今回の哲学カフェを振り返って考えてみよう。

◆【授業の振り返り】あなたの「人間にとっての美」についての理解は授業の前と後でどのような変化がありましたか。その他学んだこと、気付いたことなどを振り返ってください。

美の何を学んでいたのか、機能のことについて述べられて
 また別の観点から美しいものを見ることに気付かされた。
 この授業の中で、美について何もしなかったが、この時間では
 全然理解することができないうらい、美一つの言葉では
 あるが、そのその深さをいじさを感じた。今回の授業を
 通して、気付いたことがたくさんあったので、これから美しい
 ものを見るときには、多面的にもの見方をし理解していきたい。

